

一文ずつ丁寧に説明する心掛けで変わる！

# 言葉の「足し算」で 伝わる文章を書こう！

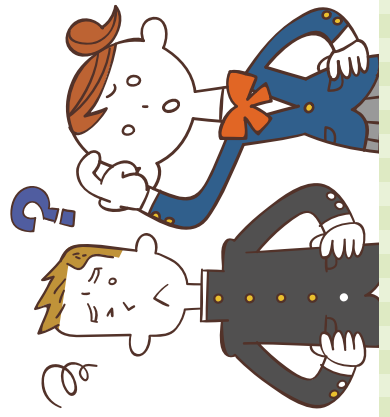
「作文を書くのが苦手…」、「どうしたらうまく書けるのかな？」と悩んでいる人。文章を書くときに大切なことは、読む人のことを考えて、丁寧に説明しようとする心掛けです。言葉の「足し算」を上手に使ってみよう。今回はそのポイントを紹介します。

わかりやすい  
作文を書けたら  
いいな...

「よく書けてるね」  
って言われたらいい

文章は短いほうが  
いいって聞くけど...?

文章がわかりにくいと言われれば、  
どのようなことを盛り込めば、  
わかりやすい文章になるでしょうか。



監修

佐竹 秀雄

(当協会 現代語研究室 室長)

国立国語研究所室長、武庫川女子大学言語文化研究所長を歴任。専門は現代語の表記論、文章論、言語行動論。「文章を書く技術」(ベレ出版)、「デイリーコンサイス国語辞典」(三省堂)ほか著書、編著書多数。



英語を習い始めたとき、英語が日本語と異なる点で戸惑うことの一つに語順の問題があります。日本語では「ネコがネズミを追いかける」ですが、英語では「ネコ追いかけるネズミ」です。日本語は主語が最初で述語が最後なのに対して、英語は主語の次に述語がきます。

語順自体が大きな違いですが、これに関連してさらに大きな問題があります。それは主語の省略です。英語では、一般的な書き言葉で主語が必要ですが、日本語では主語がなくても許されます。

『親譲りの無鉄砲で子供の時から  
損ばかりしている。』

夏目漱石の『坊っちゃん』の冒頭の一文ですが、主語「おれは」が省略されています。これを英語に翻訳するときは、I(アイ・私は)を補わなくてはなりません。日本語では、文脈によって理解できるという理由で、主語が省略されることが少なくありません。

ところで、日本語の文章では、省略されるのは主語だけではなく、ほかにも省略されるもの

があります。例えば「私は毎朝パンを食います」「私は毎朝、食事にパンを食います」です。でも「食事に」という説明の語は、言わなくてもわかるという理由で省略されます。

では、省略をすることに、問題は何かあるのでしょうか。

**A** 本を読む人の悩みの一つは整理だろう。

という文があります。意味はなんとなくわかる気もしますが、すっきりしません。

**B** 本を読む人の悩みの一つは本の整理だろう。

**A**の文に「本の」を加えれば、何の整理かが明確になります。さらに、

**B**の文に「たくさん」を加えて、

**C** 本をたくさん読む人の悩みの一つは本の整理だろう。

とすれば、読書家の話だとわかって、イメージもはっきりします。

**A**を書いた人は、本をたくさんもっている読書家が、本の整理に困っているイメージがあつて、**A**のように書いたと思われる。書く人にとっては、書きたい内容ははっきりしています。そのた

め、つつい言葉省略しがちになります。しかし、読む人が、書いた人と同じイメージを抱くとは限りません。省略には伝わりにくくなるという危険があります。ですから、文章を書くときには、何も知らない読み手に伝えるつもりで、少し丁寧に書くくらいに書く方がいいのです。

不足を補って丁寧に書くことと、わかりやすい文章が書けること以外にメリットがあります。それは長い文章が書けるということです。作文で「長い文章が書けない」と悩む人がいます。その人たちは、内容をまとめて書くこととして省略が多い傾向がみられます。

文章を書くときは、一度書きあげたものを読み返し、主語や説明の語が不足していないかチェックしましょう。そして、不足を補って丁寧に書くようにしましょう。

文章を書くときのポイント

- 1 主語や大事な説明の語を落とさず、丁寧に述べよう。
- 2 長い文章を書きたいときは、説明不足をチェックしよう。

## 「文章能力」を測ってみよう

→平成26年度検定日程は裏表紙に掲載

すべての教科学習の基礎になり、入試や就職でも重要な「文章能力」。あなたも文章検で力を伸ばそう！

どこで受検できるの？

文章検は漢検協会が認定した準会場で受検できます。学生・生徒の方は通っている学校や塾などにお問い合わせください。

漢検準会場・担当者様

漢検準会場に認定されている団体は、文章検が実施できます。文章検の詳しい資料はホームページまたはフリーコールより請求ください。

フリーコール：0120-509-315

<http://www.kanken.or.jp/bunshoken/>

文章検  
文章検・文章能力検定

文章検は、これまで定義が曖昧だった「文章能力」を「基礎力」「読解力」「作成力」の3つの力に分類し、それぞれの知識・能力を測る新しい検定です。あなたは文章から正しく情報を取り取ることができますか？読み手に意図が正確に伝わる文章が書けていますか？まずは文章検で自分の「文章能力」を知りましょう。強み・弱みを知れば、自分自身を伸ばすことができます。